

山口新聞

平成29年5月26日(金)

NO.250



守ろう 地域の手で

農地・水・環境

250

私たちの住む日積盆地
は、太古は湖だったと言わ
れています。大里川、日積川、
若杉川が合流して由宇川と

美しい景観維持したい!

中山保全会(柳井市)

上会員の皆さん
下水路の泥あげ



島へ向かう国道437号沿いに広がる田園地域。スピードを上げながら一列に連なるツーリングの姿を時折目にすると、美しい景観に恵まれてはいるものの、高齢化が進み、農業を取り巻く情勢は極めて厳しい状況にある。

そこで「農村環境を維持し活性化していきたい」と

いきなり、瀬戸内海へと流れている。大里川、日積川、若杉川が合流して由宇川と見られる里山である。

なかでも、中山地区は大島へ向かう国道437号沿いに広がる田園地域。スピードを上げながら一列に連なるツーリングの姿を時折目にすると、美しい景観に恵まれてはいるものの、高齢化が進み、農業を取り巻く情勢は極めて厳しい状況にある。

そこで「農村環境を維持し活性化していきたい」といきなり、瀬戸内海へと流れている。大里川、日積川、若杉川が合流して由宇川と見られる里山である。

なかでも、中山地区は大島へ向かう国道437号沿いに広がる田園地域。スピードを上げながら一列に連なるツーリングの姿を時折目にすると、美しい景観に恵まれてはいるものの、高齢化が進み、農業を取り巻く情勢は極めて厳しい状況にある。

そこで「農村環境を維持し活性化していきたい」といきなり、瀬戸内海へと流れている。大里川、日積川、若杉川が合流して由宇川と見られる里山である。

の願いから、2014年にいる。典型的な河岸段丘が当会を結成し自主自立の里山づくりを進めている。主

な活動は農道の草刈りや水路の泥上げ、桜木の植栽など。年2回程度の活動だが、女性の参加も多く、和気あいあいと楽しい時間となつ

ている。1ターンしてきた3家族も地域に溶け込み一緒に汗を流している。

美しい景観は地域の財産である。今後も協力し合いながら環境美化に努めていきたい。

(書記・会計、高井孝則)
|| 金曜日掲載 ||

【メモ】会長=瀧本幹雄△会員=27人、農家(4戸)、非農家(21戸)、農家△設立=2014年6月29日△連絡先=柳井市日積20937、高井孝則さん、電話0820-280209